



GEOLIS シリーズ

(公社)日本下水道協会『下水道施設の耐震対策指針と解説』 【2025年改訂対応版】

GEOLIS バージョンアップのお知らせ。

改定対象ソフト： スチールセグメント版
RC セグメント版
スチール+RC 版
二次覆工一体・省略型

拝啓 貴社益々ご清栄のことと、お喜び申し上げます。

本年6月に 公益社団法人 日本下水道協会より20年ぶりの改訂版『JSWAS 下水道シールド工事用標準セグメント』へのバージョンアップソフトをご案内し、多くのユーザー様に対応して頂いたところですが、このたび日本下水道協会より表記の『2025年版 耐震指針』についても約10年ぶりの改訂版が8月28日に発行されました。

特に今回の改定ではレベル2 応答変位法の基本ベースとなる設計地震動について、これまでの一律の応答速度であったタイプII(内陸直下型)のみならず、地域別補正係数を設定し、タイプI(プレート境界型)地震動についても対象とし、設計当該地点ごとにタイプIとタイプIIの両ケースの内、より大きい応答速度を採用する事を原則とする大幅な改定となっています。

指針ではこの複雑化した設計応答速度の設定を、両ケースの固有周期に対する応答速度を地域区分ごとに示されている事から、**GEOLIS では利用者がこの地域区分を入力するだけで固有周期の算出から地域区分に応じた設計地応答速度の設定まで自動的に行い、これまでの操作と何ら変わることなく作業可能としております。**

なお出力する計算書には、当該地のタイプIとタイプIIの選定や設計応答速度の決定値の根拠も明確にした上で、これに従来からの表層を均一地盤 or 多層系地盤の扱いで異なる結果も表示が必要となる為、計算書の出力内容が極めて煩雑化し、結果のチェックも確認しづらくなります。

そこで **GEOLIS では別途表(A3サイズ)に常時・レベル1・レベル2の根拠となる重要指標指標や算定値をまとめ、結果値以外にも、土質条件や変位図などが一元管理できる結果一覧表にバージョンアップし、ケアレスミス防止や第三者によるチェックの簡潔化に配慮いたしました。**
(前回バージョンアップの結果一覧表を進化)

なお集計表は1断面当たり3ケースからの一覧表を選定できるよう配慮しました。
(表層均一+多層系の比較出力表/均一計算結果のみ出力表/多層系地盤計算結果のみ出力)

以上、ユーザの皆様には半年程度でバージョンアップとなり、ご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご理解願います。

なお、今回の発売内容については、当然多くのユーザ様からのお問い合わせもあり、また大幅な改定でもありますことから、早期に普及させるためにも、キャンペーン期間を設定し、割安価格で対応いたしますが、前回のバージョンアップに対応して頂いていないユーザ様におかれましては、前回のバージョンアップ価格も併せての価格となります事、ご了承ください。(ただし、今回のキャンペーン期間であれば、前回分も当時のバージョンアップ価格でご提供いたします)

※ 前回バージョンアップの内容

前回バージョンアップの内容としては『(公)日本下水道協会 JSWAS 下水道シールド工事用標準セグメント(令和6年4月1日改定)』の改訂版発行に伴い、

材料の許容応力やヤング係数の変更あるいは、二次覆工一体型と同様にひび割れ照査の追加の他、常時計算～耐震計算の土質条件入力データの共有化(これまで個別に入力)や常時～耐震計算結果の主要項目結果値の一覧表示までを行っていますが、前述の通り今回のバージョンアップではさらに図表を添付して見やすく、かつ詳細にしております。

バージョンアップキャンペーン価格(令和8年1月末日まで有効)

	(別途消費税価格)
1. スチール+RC 版常時耐震ソフトの場合	150,000 円(230,000 円)
2. スチールもしくはRC 単独版常時耐震ソフトの場合	100,000 円(150,000 円)
3. 二次覆工省略型(一体型)ソフトの場合	130,000 円(190,000 円)

()内はキャンペーン後の通常価格

※今回ソフトでは内水圧に関しては変更ございませんので、内水圧対応版をお持ちのユーザー様には自動的に従来通り連動させております。

さらに、同一管理者で同一ソフト複数購入のユーザー様におかれましては、2 本目より30%引きといたします。

前回バージョンアップをされていないユーザー様の場合のキャンペーン価格

1. スチール+RC 版常時耐震ソフトの場合	260,000 円(395,000 円)
2. スチール+RC 版常時耐震+内水圧の場合	275,000 円(425,000 円)
3. スチールもしくはRC 単独版常時耐震ソフトの場合	165,000 円(250,000 円)
4. スチールもしくはRC 単独版常時耐震+内水圧の場合	175,000 円(270,000 円)
5. 二次覆工省略型(一体型)+内水圧の場合	220,000 円(335,000 円)

※ 尚前回のバージョンアップされていないユーザー様におかれましては、弊社内ユーザー様管理データとして、下記4項目について登録させていただきますのでご協力の程お願い致します。

(今後ご担当が変更される場合は、お手数ですがご連絡願います)

- ・ 会社名(部署迄)
- ・ 会社連絡先(住所・支店名・TEL/FAX)
- ・ 管理者名(管理部署が決められている場合は、その部署名もお願いいたします)
- ・ 管理者メールアドレス

前回同様、ユーザ各位におかれまして、現在お持ちの GEOLIS のバージョンが不明でお困りの場合は、まず申込書に在る現状 Ver 不明の欄に印を入れて頂きますと、弊社よりまずご通知いたしますので、その上でご検討の上改めてご注文下さい。

『結果一覧表』については以下の目的、用途に応じて3パターンの出力が可能です。

- ① 1断面につき表層を均一評価した場合と多層系評価した結果を比較できる様、全ての結果をA31枚にまとめた一覧表
- ② 1断面につき表層を均一評価した場合の結果のみまとめた一覧表
- ③ 1断面につき表層を多層系評価した場合の結果のみまとめた一覧表

①は、1つの設計条件に付き、常時・内水圧及び表層の均一モデルと多層系モデルの耐震検討結果を(L1/L2)全て1枚の一覧表に図表と共に整理した一覧表で、これ1枚で全容を明確化したものです。

②及び③は均一モデルと多層系モデル結果を別々に1枚にまとめ上げたもので、確定したいずれかのケースのみの結果を出力する事で、①での内容確認後、発注者が所内報告や会計検査の際に結果説明を明確にするため用意したもので、発注者側のご意見を取り入れております。

(これらの選択は入力シートボタン一つで簡単に切り替え出来ます)

二次覆工一体型・省略型耐震検討ソフトの二次キャンペーン

最近のシールド実施設計では、STあるいはRCセグメントに代わり、二次覆工一体・省略型セグメントの採用が全国的に増加している傾向にあり、弊社で取り扱った最近3年間での下請けとしてのシールド実施設計一括案件だけでも、6件中4件が、一体・省略型セグメントとなっており、今後新規の実施設計では二次覆工一体・省略型ソフトは必須と考えております。

但し耐震診断業務では過去のST・RCセグメントに対する業務の為、この対応ソフトの利用が中心ですし、今後も上下水道では標準セグメントによる設計も進むでしょうが、一体及び省略型セグメントがもはや“特殊”な事例ではなくなっている状況にあります。

(仮にST・RCセグメントの採用でも、経済比較検討を目的に二次覆工一体型・省略型の設計が、既に必須要件となっています。)

そこで今回のバージョンアップ期間に合わせ、二次覆工一体型・省略型耐震検討ソフトの新規追加購入二次キャンペーンも行います。

本来なら今回のバージョンアップも含めると新規購入はかなりコストアップととなりますが、本キャンペーン期間のみ特別価格でご提供いたします。

特にGEOLISシリーズは発売後約20年間、様々なバージョンアップを繰り返してきたこともあり、2027年4月に全ソフトの価格変更を予定しておりますので、GEOLISユーザー様のみを対象とした今回の最終キャンペーンをぜひご利用願います。

二次覆工一体・省略型二次キャンペーン価格(2025年度版)

【別途消費税】

二次覆工一体・省略型内容	定価	特別価格
二次覆工一体・省略型セグメント (常時+耐震(L1/L2)+内圧+疑似非線形)	930,000+220,000 =1,150,000円	800,000円

(令和8年末日まで有効)